

今の成績



まあ、あの学校でいっか



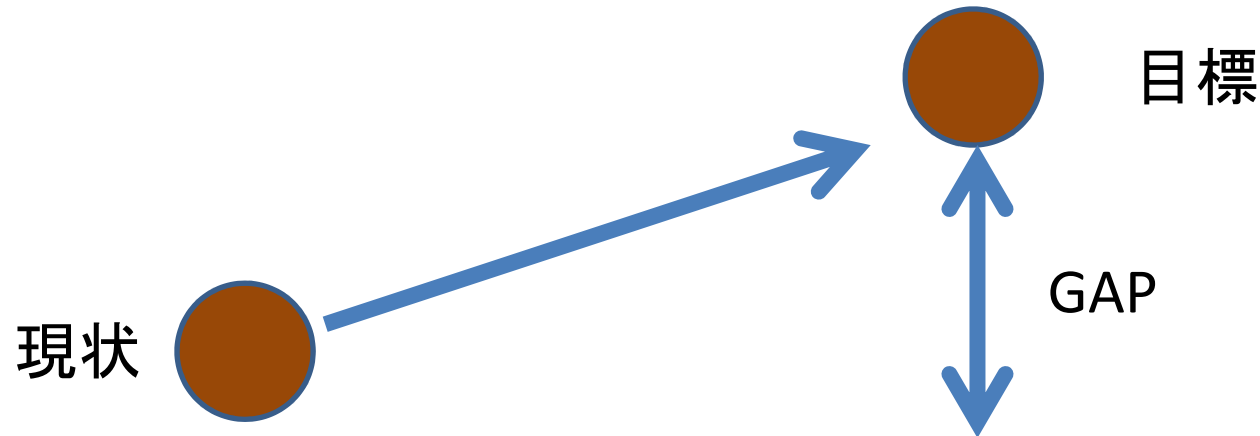
成績を上げる！



あの学校に行きたい！

できるだけのことをやって、「いけるところ」に行ければいい、という考え方ではなく、「あそこに行きたい！そのためにはどうしたらいいのか？」という考え方で、方法を自分で考え、探し、決めるという姿勢で取り組んで欲しいと思います。その「手順」が「目標達成の6つのステップ」です。

目標達成の6つのステップ

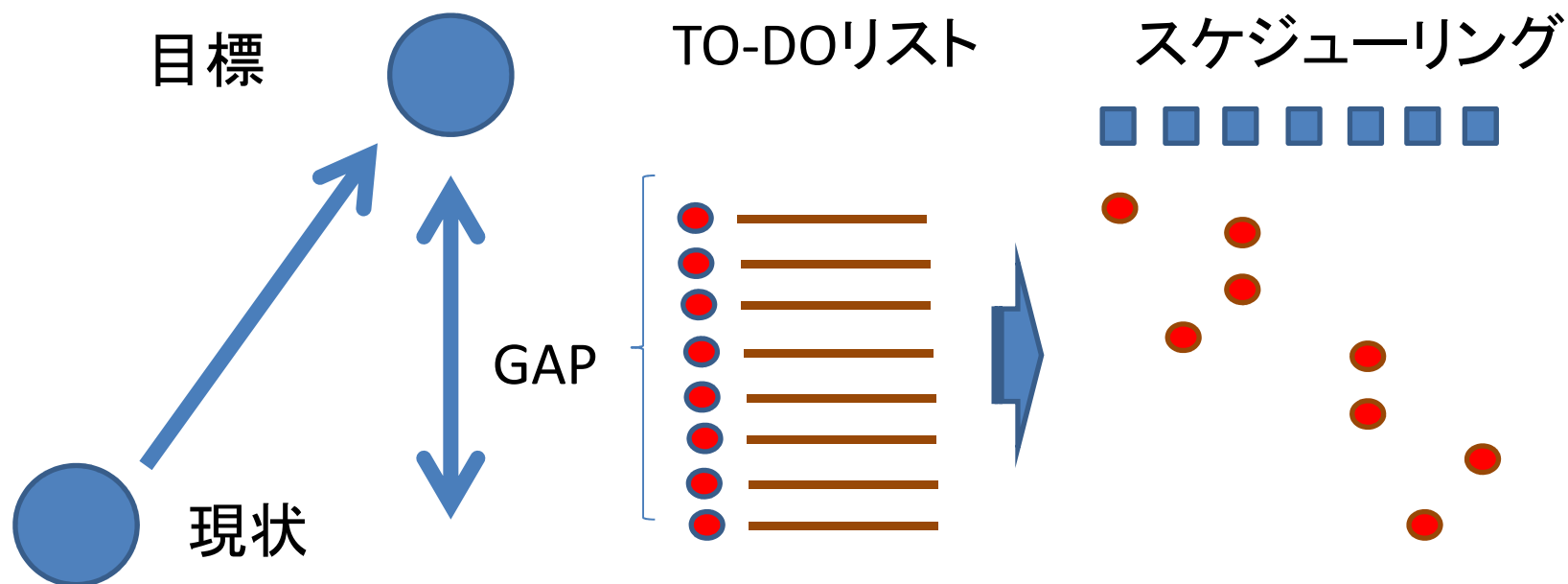


① 目標を決める

② 現状を把握する

③ GAPを確認する

目標達成の6つのステップ



④やるべきことをリストアップ(TO-DOリスト)

⑤実行計画(スケジューリング)

⑥振り返り・行動修正(リ・スケジューリング)

「To-Doリスト」を作るための「HERO+3T」

Hear	「尋ねる」・・・試験にすでに合格した人などに「コツ」などを聞く
Examine	「考える」・・・自分を分析したり、必要なものを考える
Research	「調べる」・・・方法・教材・やり方などを自分なりに調べる
Operate	「作業する」・・・手段の整理、選択をし、計画づくり
Trial	「試行」・・・やるべきことが決まったらまずは実行！
Test	「効果測定」・・・セルフ試験をしたり、方法が妥当か考える
Traning	「練習・訓練」・・・できないところは繰り返し練習・練習！

- 計画づくりのかなり高度なやり方を紹介します。
- ところで、皆さんは将来、どの高校や大学・専門学校、またはどんな会社に就職したいと思っていますか？
- その時になってみないとわからないことではありますが、ただ、できればやれるだけのことはやったと思ってその進路を選択して欲しいと願っています。
- そのためには、「その時行けるところに行ければいい」という考え方ではなく、「あそこに行きたい。そのためにはどうしたらいいだろう」と考え、努力したうえで最終の選択をして欲しいと思うのです。

- まず、「目標達成の6つのステップ」というものを紹介しています。
- 最初のステップは「目標設定」です。まずは、どんな人になりたいか、どんな会社で働きたいか、どんな学校に行きたいか。夢を描きましょう。
- そして、そのあと、いまの自分を見つめましょう。最初に自分を見つめてしまうと「できない理由」を考えてしまいがちだからです。
- 次に、現状を理解したら、目標とのギャップを確認します。自分では分からない人は先生や先輩に相談するとよいでしょう。知らないのに自分の勝手な思い込みで考えても意味がありません。

- さて、次の「やるべきこと」を書き出すのが一番の山場です。大学受験にしても英検の試験にしても、ほとんどの場合、初めての経験なわけですから、自分の知識だけでは、正しいアクションを見つけだすことはできません。
- だから、勇気をだして、人に聞いてみましょう。そして、自分でも探したり、調べたりして、「自信を持って実行できる計画」になるまで考えてみましょう。
- 起こすべきアクションを紹介したのが、「HERO + 3T」です。

- 実行計画に自信があると「やる気」も強くなります。よく、計画を途中で投げ出す人がいますが、その原因の一つは、そもそもその計画を「信じていない」からなのです。
- 人に書けと言われて書いた計画はその場限りの形だけ整えたものになりがちです。
- 皆さんが本当に目標を達成したいのなら、この計画づくりにこそ真剣に取り組んでください。